PART2　結びの省略／流れ・逆接強調法・危惧の用法・間投助詞

★**「結びの省略」**＝係助詞の「　　」の**一文字**確認

〇**に**＋{ぞ／なむ}、。→「　　　」を補う

〇**に**＋{や／か}、。→「　　　」を補う

〇**に**＋こそ、。→「　　・　　」を補う

〇**と**＋係助詞、。→「　　（　　　）・　　（　　　）」を補う

★**「結びの流れ（消失・消滅）」**　本来結びとなる語に、接続助詞などがついて、結びがなくなり先へ続いていくこと。

（例）たとひ耳鼻**こそ**切れ失すとも、命ばかりはなどて生きざらむ。

問五　「いづくにか」の後に省略されているものを、次の中から選べ。

ア　来める　　イ　あらん　　ウ　参らばや　　エ　あらじ　　オ　多かりし

問六　各傍線部「こそ」の説明として、最も適当なものを、次の中からそれぞれ選べ。

「よろづのこと、さまに従ひてこそ[1]めやすけれ。〈中略〉御声こそ[2]惜しみ給ふとも、少しけ近くだにこそ[3]」などいさめ聞こえ給へど…

イ　係りに対して正しく結ばれ、強調文として終止する。
ロ　係りに対して正しく結ばれ、強調文として逆接的に下に続く。
ハ　係りに対して正しく結ばれ、強調文として反語の表現となる。
ニ　係りに対して結びが流れ、強調文として終止する。
ホ　係りに対して結びが流れ、強調文として逆接的に下に続く。
ヘ　係りに対して結びが流れ、強調文として反語の表現となる。
ト　係りだけで、その部分を強調提示する。
チ　係りだけで、言外に逆接的な意味を暗示する。

1＝　　2＝　　3＝

★「逆接強調法」

「文中」の「こそ…已然形、〜」→訳出の時に「…　　　　　　、〜」などの「　　　　　」を補う。

★「危惧の用法」

○もぞ
○もこそ
＝「〜したら　　　　・　　　　　」と訳す。

問七「殿のうちをだに人あまたしてこそ歩きたまへ、ただひとところ帰りたまふに、…」の傍線部の現代語訳として最も適当なものを、次の中から一つ選べ。

1　屋敷の中でさえ人を大勢連れてお歩きになるので
2　屋敷の中までも人を大勢連れてお歩きになれば
3　せめて屋敷の中だけでも人を大勢連れてお歩きにならなければ
4　屋敷の中でさえ人を大勢連れてお歩きになるのに
5　せめて屋敷の中だけでも人を大勢連れてお歩きください

問八「風邪などもこそ引かせ給へ」を「もこそ」の意味に注意して現代語訳せよ。　※給ふ＝「〜なさる」と訳す

間投助詞（や・よ・を・こそ）

★「こそ」の意味

①　呼びかけ（～さん）

「人物こそ。」

★「や」・「よ」・「を」の意味

①　詠嘆（～なあ）
②　強調（訳出不要）
③　呼びかけ（～よ）

第13講　PART2　確認問題

① 「世に語り伝ふる事、まことはあいなきにや、おほくは、…」の傍線部の係助詞「や」は結びが省略されている。補うべき語句として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　ある　　イ　あらむ　　ウ　あれ　　エ　あらめ

② 「袖をひろぐるわざをし侍るにこそとうち思ひて、…」の傍線部の係助詞「こそ」は結びが省略されている。補うべき語句として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　聞け　　イ　言へ　　ウ　あはれめ　　エ　あらめ

③ 傍線部の係助詞に対して結びが省略された文として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　「なにの前司(ぜんじ)にこそは。」などぞかならずいらふる。
イ　まことにさにこそ候ひけれ。
ウ　敦盛(あつもり)器量(きりやう)たるによつて、持たれたりけるとかや。
エ　橋を八つわたせるによりてなむ八橋といひける。

④「しな・かたちこそ生まれつきたらめ、心は…」の傍線部の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　生まれつきであろうけれども
イ　生まれつきだから
ウ　生まれつきではあるまいが
エ　生まれつきではないのだろうか

⑤「風もぞ吹く。」の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　風が吹いた。
イ　風が吹いたら困る。
ウ　風が吹きすさんでいる。
エ　風が吹くので。

第13講　PART２　解答

問五　イ

問六　１イ　２ホ　３ト

問七　４

問八　風邪などをひきなさったら大変だ

第13講　PART2　確認問題　解答

〔解説〕

① 結びの省略の問題。断定の助動詞「なり」の連用形「に」が係助詞の上に来ている場合、動詞「あり」が省略されているので、それを補いながら訳す。「に＋ぞ・なむ」なら「ある」、「に＋や・か」なら「あらむ」、「に＋こそ」なら「あれ・あらめ」が省略されている。よって、イが正解。

② 結びの省略の問題。断定の助動詞「なり」の連用形「に」が係助詞の上に来ている場合、動詞「あり」が省略されているので、それを補いながら訳す。「に＋こそ」の形なので、「あらめ」が省略されていることがわかる。よって、エが正解。

③ 結びの省略の問題。ウは、係助詞「や」で文が終わっており、それを受ける動詞（ここでは「聞く」）が省略されている。よって、ウが正解。

④ 現代語訳に気をつける係助詞の使い方である、「逆接強調法」についての問題。「こそ…已然形、〜」というように、結びの後に読点がつき、下に文章が続いている場合、逆接の用法となり、「〜けれども」、「〜が」と訳す。よって、アが正解。

⑤ 現代語訳に気をつける係助詞の使い方である、「危惧の用法」についての問題。係助詞「ぞ・こそ」に「も」がつき、「もぞ・もこそ」の形で使われる場合、「〜したら困る・大変だ」という形に訳す。よって、イが正解。

〔解答〕

①　イ　②　エ　③　ウ　④　ア　⑤　イ